

CHIMES CH-500

CHIMES STAND CHS-520 / CHS-506

取扱説明書

Owner's Manual

Руководство пользователя

使用手册

사용설명서

『安全へのこころがけ』(2 ページ) および『ご使用にあたって』(3 ページ) を必ずお読みください。

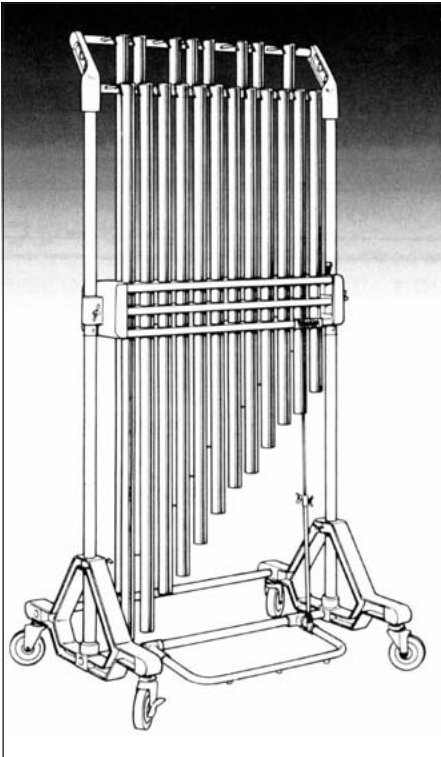
Make sure to read the "PRECAUTIONS" on page 6 and the "Before you use" on page 7.

Обязательно прочтите разделы «МЕРЫ ПРЕДОСТОРОЖНОСТИ» на стр. 10 и «Перед началом использования» на стр. 11.

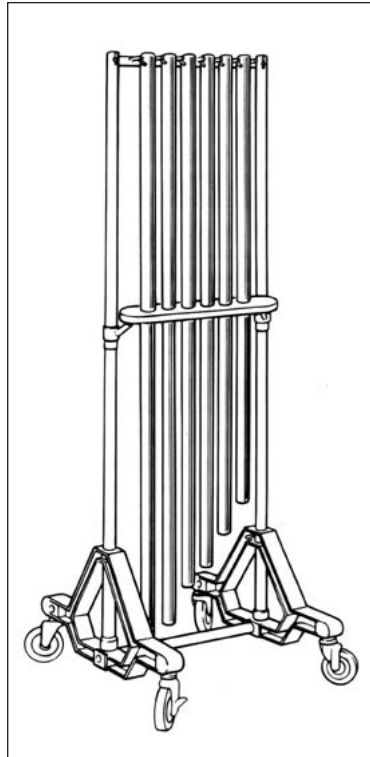
务请阅读第 14 页“注意事项”和第 15 页“使用之前”。

18 페이지의 “주의사항” 및 19 페이지의 “사용하기 전에” 를 반드시 읽어 주십시오.

CH-500



CHS-506



- * 別売サウンドコラム取り付け時
- * Shown with the sound columns (sold separately) attached.
- * Показана с прикрепленными звуковыми колоннами (продаются отдельно).
- * 图中音柱为选购产品。
- * 사운드 컬럼 (별매) 이 부착된 상태.

安全へのところかけ

チャイムを安全にご利用いただくためのご注意

チャイムはご家庭や学校内で、お子様から専門家まで幅広い方々にご愛用いただいております。

チャイムは大きくて重い楽器です。

室内での置き場所や日常の取り扱いについて、安全にご利用いただくため、下記の注意を必ず守ってください。

特に小さなお子様には、最初にご家族の方、または指導者から取り扱い方法を指導してください。

人身傷害の危険を防止するには ~以下の指示を必ず守ってください~


絵表示について

この「安全へのところかけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。



注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為を告げるものです。例： → 分解禁止



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。



チャイムを使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。

設置上の注意



楽器をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

取扱い上の注意



楽器にもたれかかったり、乗ったりしないでください。楽器が倒れて、大けがをすることがあります。

楽器のまわりで遊ばないでください。身体をぶつけてけがをすることがあります。楽器の転倒の原因にもなります。お子様が楽器のまわりで遊ばないように注意してください。



地震による強い揺れにより、楽器が移動したり転倒する恐れがあります。地震の際は楽器に近づかないようにしてください。

移動の際の注意



チャイムを移動する場合は、必ずダンパーをかけ、キャスターのロックをすべて解除してください。

キャスターのロックがかかったままで動かすと、転倒することがあります。

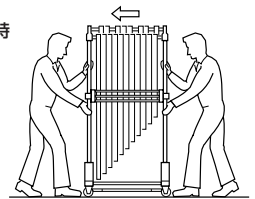
● キャスターを利用しての移動は、滑らかな平坦面でのみ行ってください。傾いた所や凹凸のある道、じゃり道は避けてください。チャイムが倒れたり暴走して大けがをします。

2人で右図のようにサイドコラムをささえ、間口の方向へゆっくりと押してください。走らないでください。楽器が止まらなくなり、壁にぶつかるなどして大けがをします。

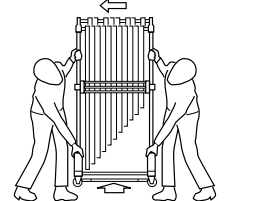
● CH-500の重量は、およそ84kgです。持ち上げて移動しなければならない時は、できるだけ多人数で、ケガ等のないよう十分に注意してください。その際は、必ずベース部分を持ちサイドコラムを支えながら、ハンガー部（サウンドコラムの吊るしてある側）が上になるようにして持ち上げます。ベースがハンガー部より上になるような持ち上げ方は、絶対に避けてください。サウンドコラムが落ちます。

● 楽器を組立てた状態で、階段を登り降りをして運ばないでください。部品が落下したり、バランスを崩して倒れたりして危険です。必ず分解した状態で運んでください。

キャスター使用時



持ち上げる場合



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。



組み立てや分解の際、金属部品の角や端面で指などをケガないように注意してください。



ハンマーは演奏以外には使用しないでください。けがや事故の原因となります。お子様が人の身体をたたくなど、危険な行為をしないように注意してください。

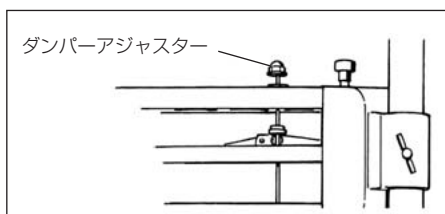


頻繁に移動するような場合は、各部のボルト類がゆるむことがあります。移動後には、ゆるみをチェックし、ゆるんでいる場合は締めてください。

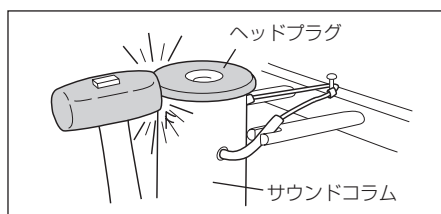
ヤマハチャイムをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
取扱説明書をご一読いただき、末長くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

ご使用にあたって

- 1 サウンドコラムに、金属製のハンマーやマレットを使用することは、絶対に避けてください。サウンドコラムが破損します。
- 2 床が水平な場所で使用してください。水平でない場所では、機能が十分に発揮されません。
- 3 スタンドを組み立てる時は、各部の取り付けをしっかりと行なって、ねじれやゆがみがないように、また各蝶ネジ部も確実に締め付けてください。
- 4 ダンパーペダルは、つま先で操作します。体重をかけたり、乗ることは避けてください。破損の原因になります。
- 5 ダンパーアジャスターには、触れないようにしてください。工場出荷時に調整してあります。ダンパーアジャスターを動かすと、ダンパーが作動しなくなることがあります。



- 6 演奏使用する時は、キャスターにしっかりとブレーキをかけ、動き出さないようにしてください。
- 7 演奏の際は、ヘッドプラグを叩いてください。サウンドコラム（パイプ部）はハンマーで叩かないでください。



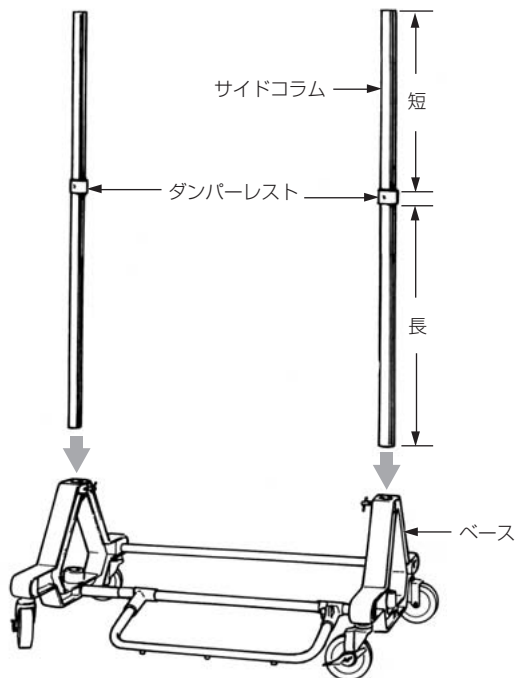
- 8 高音・多湿の場所で保管すると、楽器の寿命を縮めますので避けてください。
- 9 普段の手入れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。シンナーやミガキ粉等で拭くことは、絶対に避けてください。

運搬上の注意

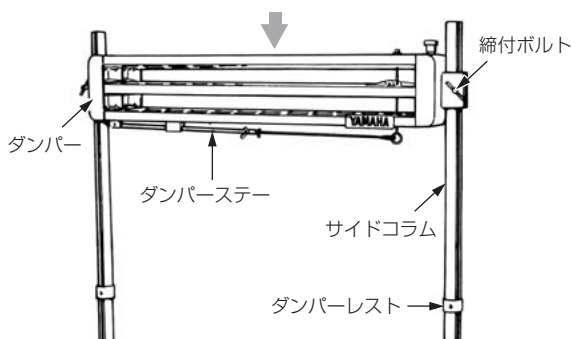
- 1 運搬・移動の際には、楽器に衝撃を与えないよう、十分に注意してください。
- 2 サウンドコラム（音管）に傷がついたり、曲がったりすると、音程・音色が損なわれますので特にご注意ください。
- 3 長時間の移動、特に車両等での移動の際は、必ずサウンドコラムをスタンドから外して行ってください。スタンドが変形したり、サウンドコラムのワイヤーが切れることがあります。
- 4 サウンドコラムの取り付け・取り外しは、スタンドや他の物に当たらないよう、広い場所で慎重に行なってください。
- 5 取り外したサウンドコラムは、傷がつかないように柔らかい布等でぐるんで運搬してください。

CH-500/CHS-520 組立方法

- 1** サイドコラムをベースに差し込みます。
この時、サイドコラムの中ほどに付いている金具（ダンパーレスト）から先端までの長さが短い方を上向きにします。

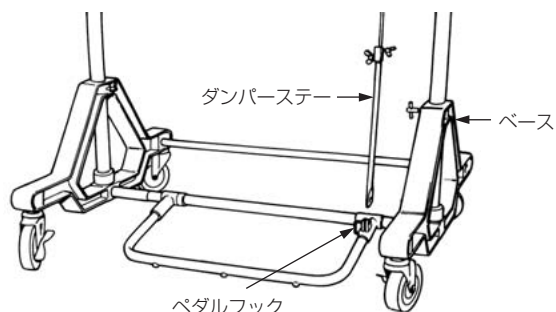


- 2** サイドコラムにダンパーをはめ込み、ダンパーレストの位置まで下げます。次にダンパーの締付ボルトを締め、固定します。この時サイドコラムとベースを固定する締付ボルトも締め付けます。



- 3** ダンパーの下部に保持されているダンパーステーを外し、蝶ネジを緩めてペダルフックにステアーを固定します。ペダルの位置は、ステアーの2ヶ所の蝶ネジで長さを調節します。この時、上側の蝶ネジを先に締めた後、下側の蝶ネジを締めます。

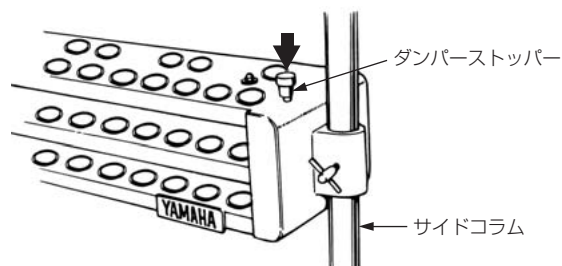
ペダルを踏み込んで止まる位置が床面より少し浮いた状態が最適です。



- 4** ハンガーをサイドコラムに差し込みます。



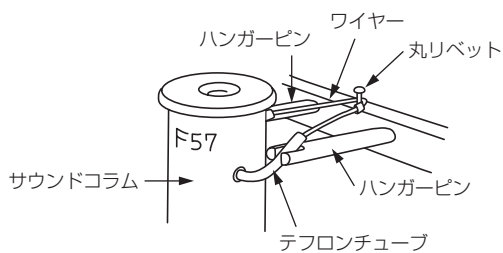
- 5** ダンパーストッパーは、ペダルを踏み込んだ状態で下に押さえ、そのままペダルから離すとストッパーがかかります。



- 6** サウンドコラム（音管）をハンガーに掛ける時は、まずダンパーストッパーを固定します。
サウンドコラムは、音名の刻印を前面にして、片方のハンガーピンの溝にワイヤーを掛け、次にハンガー上部の丸リベットに掛けてから、もう一方のハンガーピンの溝にワイヤーを通します。

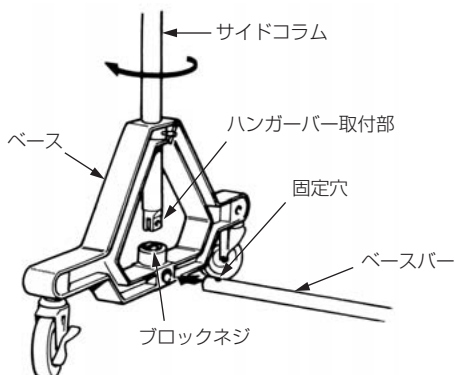
サウンドコラムをハンガーに掛ける手順は、派生音（C#53～F#70）の列から先に掛け、その後幹音（C52～G71）の列を掛ける方が便利です。

※分解する時は、組み立てる時と反対の手順で行ないます。

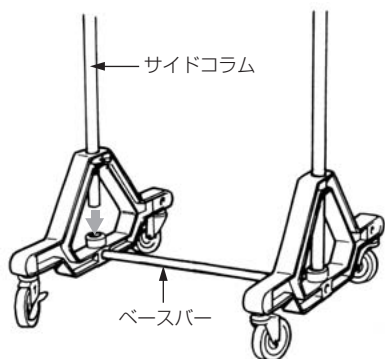


CHS-506 組立方法

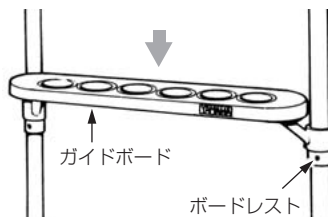
- 1** ベースパールの固定穴をベースのネジ穴と合わせるように接続し、ブロックネジを締め付け固定します。（サイドコラムの上端がブロックネジ固定用の工具になっています。）



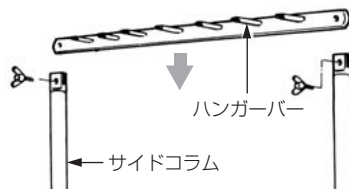
- 2** ブロックネジを固定した後、サイドコラムのハンガーバー取付部を上にして、ベースに差し込みます。



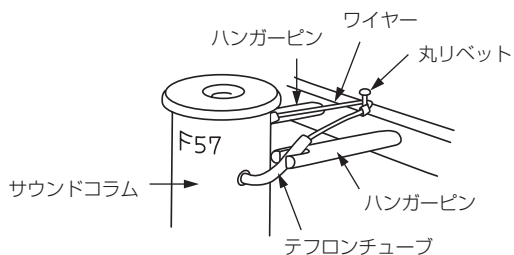
- 3** ガイドボードを、ボードレストまではめ込みます。



- 4** ハンガーバーをサイドコラム上端にはめ込み、蝶ネジで固定します。この時、サイドコラムとベースを固定する蝶ネジも締め付けます。



- 5** サイドコラムの刻印を前面にして、ハンガーに固定します。



※分解する時は、組み立てる時と反対の手順で行ないます。

PRECAUTIONS

Using the Chimes Safely

The chimes are a large and heavy instrument that gets used in various places by persons of all ages, so please obey the following instructions regarding their regular care and placement.

Especially in the case of children, a responsible adult should provide proper instruction on how to use and treat the chimes before use.

Preventing Injuries —Make sure that all precautions described below are obeyed—

About the icons

Icons are used in this section to promote the safe use of this product, and to prevent you and others from harm and property damage. Please fully understand the meaning of the icons before reading the manual.



This icon urges you to pay caution (includes dangers and warnings).



This icon indicates actions that are prohibited. For example: Do not disassemble.



This icon indicates special instructions that should be strictly followed.



Warning

Disregard of the warnings with this mark or misuse may result in death or personal injury.



Before you use the chime, carefully read the instructions listed below and the owner's manual.

Cautions when setting the instrument.



Never place the instrument on a sloping, unstable, etc., platform. The instrument may fall or overturn and result in injury.

Cautions for treatment of the instrument.

Never lean on or climb onto the instrument. The instrument may fall and result in injury.



Do not play or roughhouse around the instrument. Bumping into the instrument may result in injury. It may also cause the instrument to fall over. Keep children away from the instrument.



If an earthquake occurs, strong shocks caused by the earthquake may overturn the instrument or cause it to move about. Stay away from the instrument during earthquakes.

Cautions when moving the instrument.

When transporting the chimes, make sure that the damper is engaged and all caster locks are released.

The chimes can overturn if moved with the caster locks engaged.



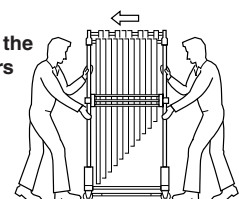
The chimes should **only be moved across smooth, flat surfaces** when using the casters. Never move the chimes on a sloped, unstable, or gravel surface. Doing so can cause the chimes to overturn or run out of control resulting in serious injury.

Always move the chimes **slowly**, with two persons supporting the side columns as shown in the illustration on the right. Never run. Doing so can result in the chimes running out of control and hitting an obstacle or wall causing serious injury.

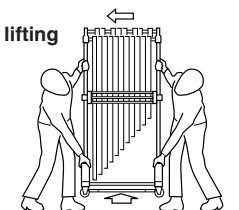
The weight of the CH-500 is approximately 84kg. If the chimes must be lifted when being moved, lift them carefully, using as many persons as possible to avoid injury. At this time, **lift the chimes by holding the base section** and supporting the side column making sure that the hanger section (from which the sound columns hang) remains in an upright position. Never lift the base section higher than the hanger section. Doing so can result in the sound columns coming off the hanger.

Moving the instrument up or down stairs should never be done with the instrument assembled. Doing so is a danger as parts can fall off, or you can lose balance causing the instrument to fall over. Only move the instrument after it has been disassembled.

When using the casters



When lifting



Caution

Injury or handicaps to persons caused by the disregard of warnings with this mark or, misuse of the instrument, may result in the loss of personal property.



When assembling or disassembling the instrument, be careful around the sides or ends of metal parts so as to prevent injury to fingers, etc.



Do not use the hammer for anything other than playing the instrument. It may be the cause of injury or accidents. Do not let children strike other, etc., with the hammer. Do not allow such dangerous behavior to take place.



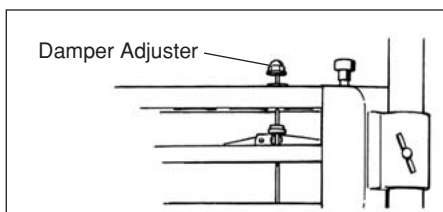
If the instrument is often moved, bolts, parts, etc., may become loose. After moving the instrument, check and make sure all bolts, parts, etc., are firmly fastened. Firmly tighten all loose items.

Thank you for selecting the YAMAHA chimes.

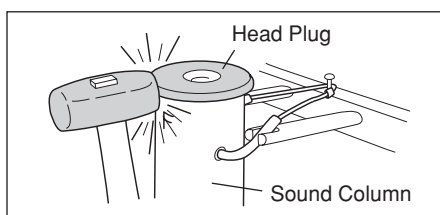
Please read this owner's manual carefully, and truly enjoy this instrument for years to come.

Before you use

- 1 Never use a metal type hammer or mallets to strike the sound column with. The sound column will break.
- 2 Always use the instrument on a flat, level surface. The instrument will not function properly on a sloped surface.
- 3 When assembling the stand, make sure each part is firmly attached, and there is no twisting or disfigurement in the frame. Also, make sure that all wing nuts are firmly tightened.
- 4 Use your toes to operate the damper pedal. Do not stand on or put your weight on the pedal. Doing so may cause the pedal to break.
- 5 Do not touch the damper adjuster. The adjuster has been adjusted at the factory. Moving the adjuster may result in the damper not functioning properly.



- 6 When playing the chime, make sure the caster brakes are firmly set and the chime stand does not move about.
- 7 Hit the Head Plug when playing the chime. Never hit the sound column (pipe) with the hammer.



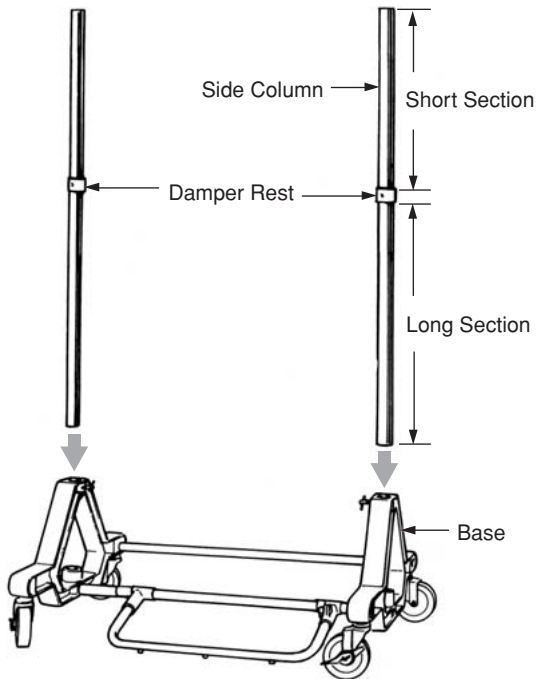
- 8 Do not keep the chime in a place where high temperatures and high humidity are present. Doing so will result in the shortening of the instruments life.
- 9 For regular cleaning, wipe with a soft, dry cloth. Never wipe with thinner, or polishing preparations.

Be careful when transporting

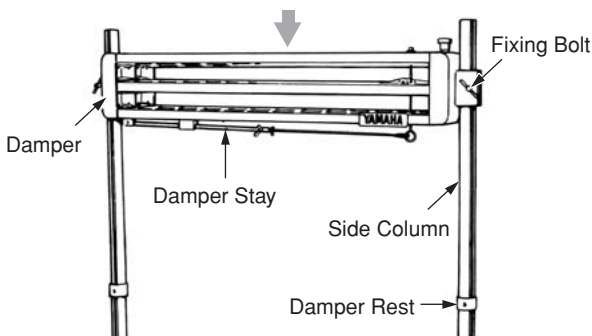
- 1 When transporting or moving the instrument, do not subject it to strong shocks.
- 2 The sound column's pitch and/or tone may change if the columns are scratched or bent. Be careful.
- 3 When the instrument is to be transported over long distances, especially by vehicle, do so with the sound columns removed from the stand. The shape of the stand may change and the column's wire/strings may be cut if the columns are not removed.
- 4 When attaching or removing the sound columns, do so in a place where there is sufficient room so that the columns do not come into contact with other objects.
- 5 After the sound columns are removed, wrap them in a soft cloth, etc., to prevent scratching, and then transport.

CH-500/CHS-520 ASSEMBLY PROCEDURE

- 1** Insert the side columns into the base. At this time, make sure that the damper rest, attached at the center of the column, and the short section of the column is positioned up-right.

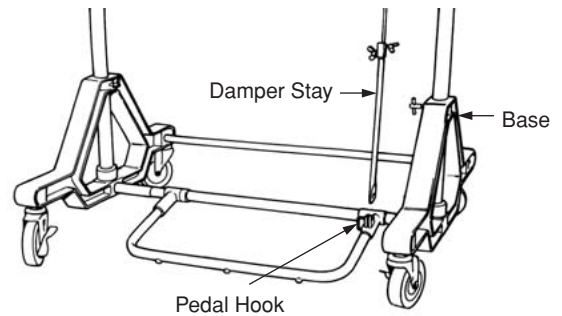


- 2** Fit the damper onto the side columns and lower the damper onto the damper rest. Next, secure the damper in its position with the damper fixing bolts. At this time, tighten the fixing bolts that secure the side column to the base as well.

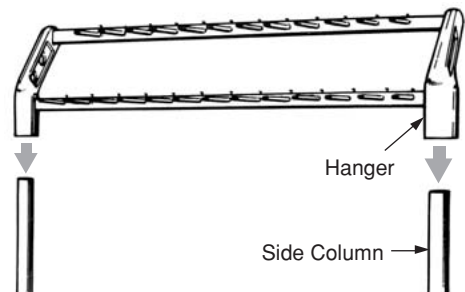


- 3** Remove the damper stay, attached to the bottom of the damper, loosen the wing bolt on the damper stay, and attach the stay to the pedal hook. The pedal's position can be controlled by adjusting the length of the pedal stay with its two wing bolts. At this time, tighten the upper wing bolt first, then go on to tighten the lower bolt.

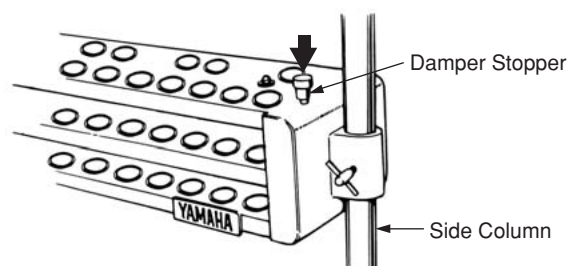
Adjust the pedal position so that the pedal stops slightly above the floor when fully depressed.



- 4** Slide the hanger onto the side columns.



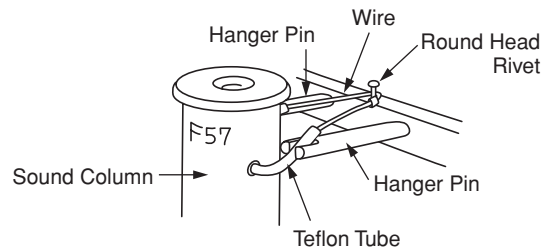
- 5** To activate the damper stopper, depress the pedal and press the stopper. When the pedal is released, the stopper will hold the damper in place.



- 6** Before hanging the sound columns on the hanger, activate the damper stopper.

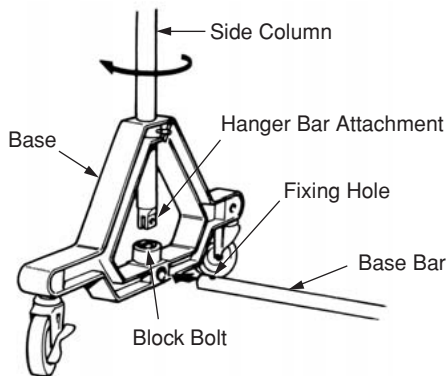
Position the sound column with its pitch inscription facing forward, place one side of the wire into the slot of the hanger pin. Next, hook the wire on the round head rivet, finally place the wire into the slot of the remaining hanger pin.

When hanging the sound columns, it is easier to hang the accidental tones (C#53-F#70) first, then hang the natural tones (C52-G71).

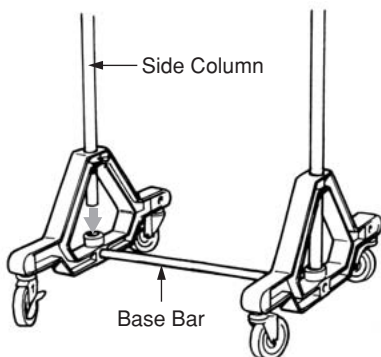


CHS-506 ASSEMBLY PROCEDURE

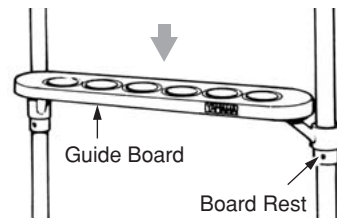
- 1** With the fixing hole on the base bar aligned with the bolt hole in the base, connect the base bar to the base. Tighten the block bolt to secure the base bar to the base. (The upper end of the side column acts as tool to tighten the block bolt. Insert the upper end of the column and tighten the block bolt by rotating the side column.)



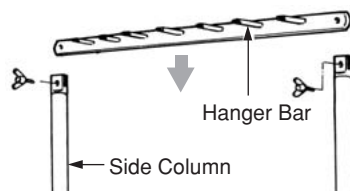
- 2** After tightening the block bolt, re-insert the side column into the base with making sure that the side column's hanger attachment positioned upright.



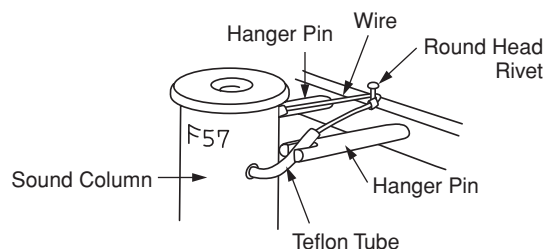
- 3** Fit the guide board onto the side columns and lower the guide board until it rests on the board rest.



- 4** Attach the hanger bar on the top of the side columns and secure with the wing bolts. At this time, also tighten the wing bolts on the side column and base.



- 5** Position the sound column with its pitch inscription facing forward, and attach the sound column to the hanger bar.



* Disassembly is performed simply by reversing the assembly order.

МЕРЫ ПРЕДОСТОРОЖНОСТИ

Безопасное использование колоколов оркестровых

Колокола оркестровые представляют собой большой и тяжелый инструмент, который используется для игры в различных местах исполнителями любого возраста, поэтому выполняйте приведенные ниже инструкции, касающиеся регулярного ухода за инструментом и его размещения.

Для детей перед началом использования инструмента следует провести надлежащий инструктаж по использованию и уходу за колоколами оркестровыми.

Предупреждение травм — Соблюдайте приведенные ниже меры предосторожности —

О знаках

Знаки, используемые в данном разделе, предназначены для обеспечения безопасности эксплуатации данного изделия, а также предотвращения травм и повреждения имущества. Прежде чем прочесть руководство, изучите значение каждого знака.



Данный знак указывает на необходимость соблюдения осторожности (включая опасности и предупреждения).



Данный знак означает запрещенные действия.



Например:
Не разбирать.



Данный знак означает особые инструкции, которые следует строго соблюдать.



Предупреждение

Игнорирование предупреждений с данным знаком может привести к смерти или травме.



Перед использованием колокола оркестрового, внимательно прочтите приведенные ниже инструкции и руководство пользователя.

Меры предосторожности при установке инструмента.



Никогда не размещайте инструмент на наклонной, неустойчивой и т.п. площадке. Инструмент может упасть или перевернуться, что приведет к травме.

Меры предосторожности при обращении с инструментом.

Никогда не наклоняйте инструмент и не взбирайтесь на него. Инструмент может упасть, что приведет к травме.



Нельзя играть в игры или толкаться возле инструмента. Натолкнувшись на инструмент, Вы можете получить травму. Это также может привести к падению инструмента. Не подпускайте маленьких детей близко к инструменту.



При землетрясении под действием сильных толчков инструмент может перевернуться или сдвинуться. Во время землетрясений держитесь подальше от инструмента.

Меры предосторожности при перемещении инструмента.

При транспортировке колоколов оркестровых убедитесь, что установлен демпфер и разблокированы все тормоза на роликах. Колокола оркестровые могут перевернуться, если попытаться переместить их, заблокировав тормоза на роликах.



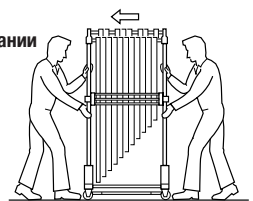
На роликах колокола оркестровые следует **перемещать только по гладкой плоской поверхности.** Никогда не перемещайте колокола оркестровые по наклонной, неустойчивой или покрытой гравием поверхности. Это может вызвать переворачивание колоколов оркестровых или потерю контроля над ними, что приведет к тяжелой травме.

Всегда перемещайте колокола оркестровые медленно, вдвоем, придерживая боковые стойки, как показано на рисунке справа. Никогда не бегите с инструментом. Вы можете потерять контроль над колоколами оркестровыми и врезаться в препятствие или стену, что приведет к тяжелой травме.

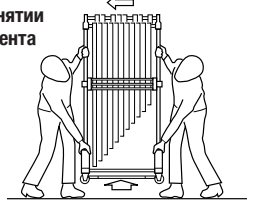
Масса модели SN-500 составляет приблизительно 84 кг. Если колокола оркестровые следует поднимать при перемещении, поднимайте их с осторожностью, привлекая к этой операции как можно больше людей, чтобы избежать повреждений. На этом этапе, **поднимите колокола оркестровые, удерживая за основание** и поддерживая боковую стойку, убедившись, что подвесная часть (к которой подвешиваются звуковые колонны) находится в вертикальном положении. Никогда не поднимайте основную часть выше подвесной части. Это может вызвать соскальзывание звуковых колонн с подвески.

Никогда не следует перемещать инструмент вверх или вниз по лестнице в собранном виде. При этом существует опасность выпадения деталей, либо Вы можете потерять равновесие и уронить инструмент. Перемещайте инструмент только в разобранном виде.

При использовании роликов



При поднятии инструмента



Внимание

Повреждения или увечья людей, вызванные несоблюдением предупреждающих указаний с данным знаком, или неправильное использование инструмента могут привести к материальному ущербу.



При сборке или разборке инструмента будьте осторожны возле боковых поверхностей или торцов металлических частей, чтобы избежать травмирования пальцев и т.д.



Если инструмент часто перемещается, болты, детали и т.п. могут ослабнуть. После перемещения инструмента проверьте его и убедитесь, что все болты, детали и т.п. надежно затянуты. Надежно затяните все ослабленные элементы.

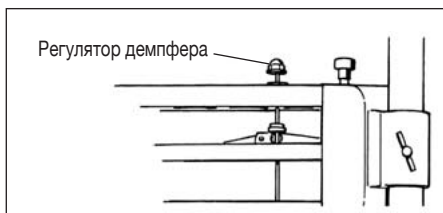


Не используйте молоточек ни для чего другого, кроме как для игры на инструменте. Это может привести к материальному ущербу или стать причиной несчастных случаев. Не позволяйте детям наносить удары друг другу и другим людям молоточком. Не допускайте такого опасного поведения.

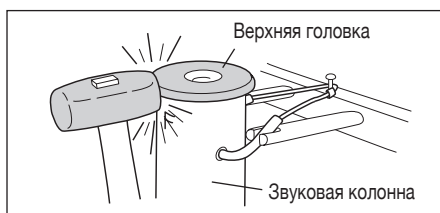
Благодарим Вас за то, что выбрали колокола оркестровые YAMAHA.
Пожалуйста, внимательно прочтите данное руководство пользователя, и Вы будете наслаждаться игрой на данном инструменте долгое время.

Перед началом использования

- 1 Никогда не используйте металлические молоточки или колотушки для ударов по звуковой колонне. Это приведет к повреждению звуковой колонны.
- 2 Всегда используйте инструмент на плоской ровной поверхности. На наклонной поверхности инструмент не будет функционировать правильно.
- 3 При сборке подставки убедитесь, что каждая деталь надежно прикреплена, а рама не искривлена и не имеет дефектов. Также убедитесь, что все барашковые шайбы надежно затянуты.
- 4 Нажимайте на демпферную педаль носком ноги. Не наступайте и не опирайтесь всем телом на педаль. Это может привести к поломке педали.
- 5 Не прикасайтесь к регулятору демпфера. Регулятор настроен на фабрике. Перемещение регулятора может привести к неправильной работе демпфера.



- 6 При игре на колоколах оркестровых убедитесь, что тормоза на роликах надежно заблокированы, и подставка для колокола оркестрового не двигается.
- 7 При игре на колоколе оркестровом ударяйте по верхней головке. Никогда не ударяйте по звуковой колонне (трубке) молоточком.

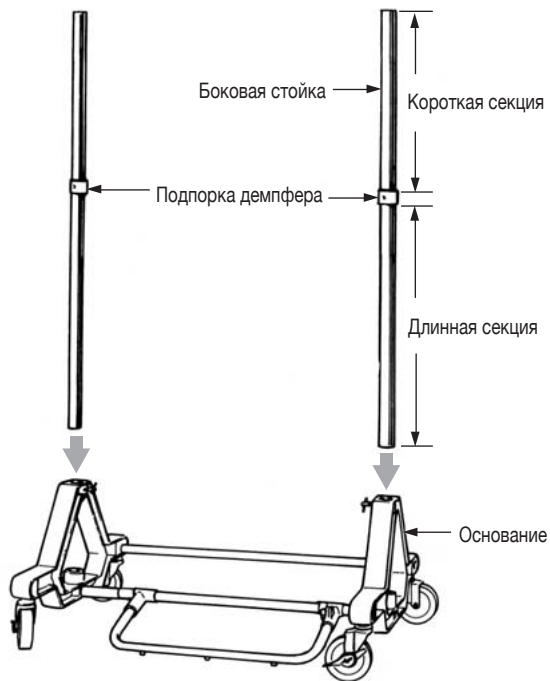


- 8 Не храните колокола оркестровые в местах с высокой температурой и высокой влажностью. Это может сократить срок службы инструмента.
- 9 При регулярной очистке протирайте инструмент мягкой сухой тряпкой. Никогда не используйте для протирки растворитель или полироли.

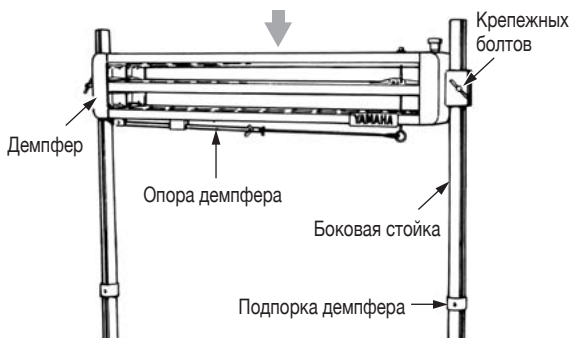
Соблюдайте осторожность при транспортировке

- 1 При транспортировке или перемещении инструмента не подвергайте его сильным ударам.
- 2 Из-за царапин или перекручивания высота тона и/или тембр звуковой колонны могут измениться. Соблюдайте осторожность.
- 3 Если инструмент следует переместить на большое расстояние, особенно при помощи транспортного средства, выполняйте транспортировку, сняв звуковые колонны с подставки. Положение подставки может измениться, и провода/струны звуковых колонн могут оборваться, если не снять колонны.
- 4 При прикреплении или снятии звуковых колонн выполняйте это в месте, где есть достаточно места, чтобы колонны не соприкасались с другими предметами.
- 5 Сняв звуковые колонны, оберните их мягкой тканью и т.п., для предотвращения появления царапин, а затем приступайте к транспортировке.

- 1** Вставьте боковые стойки в основание. На этом этапе убедитесь, что подпорка демпфера, прикрепленная к центру стойки, и короткая секция стойки расположены вертикально.

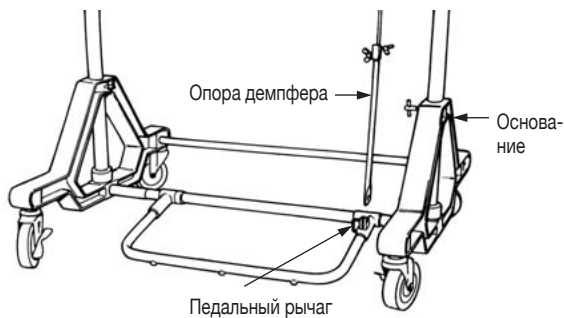


- 2** Поместите демпфер на боковые стойки и опустите демпфер на подпорку демпфера. Затем закрепите демпфер на месте с помощью крепежных болтов. На этом этапе затяните также крепежные болты, которые прикрепляют боковую стойку к основанию.



- 3** Снимите опору демпфера, прикрепленную к нижней части демпфера, ослабьте барашковый болт на опоре демпфера, и прикрепите опору к педальному рычагу. Положением педали можно управлять путем регулировки длины переключателя педального узла при помощи двух барашковых болтов. На этом этапе сначала затяните верхний барашковый болт, затем переходите к затягиванию нижнего болта.

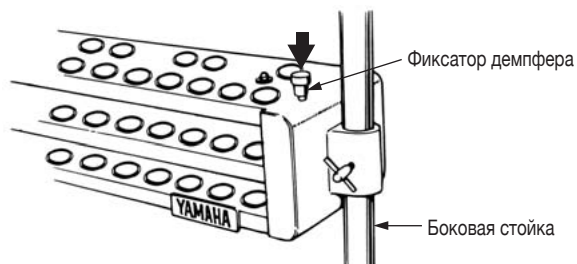
Отрегулируйте положение педали таким образом, чтобы педаль в выжатом положении останавливалась практически над самым полом.



- 4** Наденьте подвеску на боковые стойки.



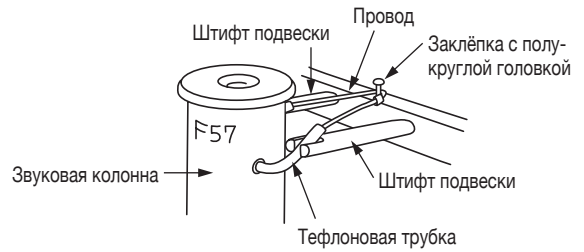
- 5** Для блокировки фиксатора демпфера выжмите педаль и нажмите на фиксатор. При отпуске педали фиксатор будет удерживать демпфер на месте.



6 Перед подвешиванием звуковых колонн на подвеску включите фиксатор демпфера.

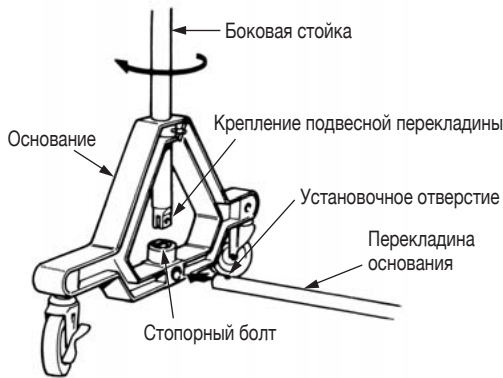
Поместите звуковую колонну надписью с высотой тона вперед, поместите один конец проводов в прорезь в штифте подвески. Затем зацепите провода за заклёпку с полукруглой головкой, после чего вставьте провода в прорезь последнего штифта подвески.

Заменять звуковые колонны будет легче, если Вы сначала повесите дополнительные звуки (С#53-F#70), а затем натуральные (С52-G71).

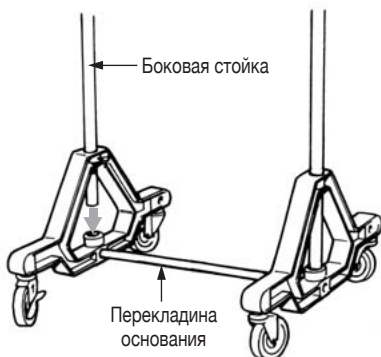


CHS-506 ПРОЦЕДУРА СБОРКИ

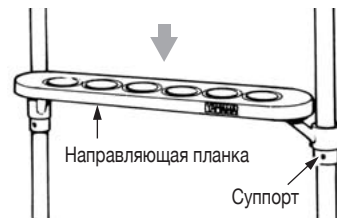
1 Совместив установочное отверстие на перекладине основания с отверстием для болта в основании, подсоедините перекладину основания к основанию. Затяните стопорный болт для того чтобы надежно прикрепить перекладину основания к основанию. (Верхний конец боковой стойки служит инструментом для затягивания стопорного болта. Вставьте верхний конец стойки и затяните стопорный болт, вращая боковую стойку.)



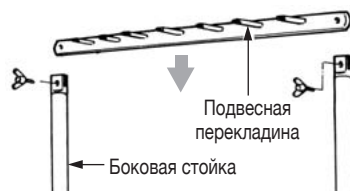
2 Затянув стопорный болт, повторно вставьте боковую стойку в основание, убедившись, что крепление подвески боковой стойки направлена вертикально.



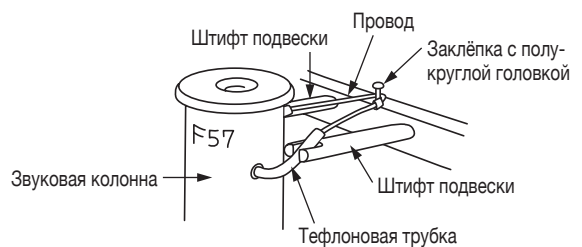
3 Поместите направляющую планку на боковые стойки и опускайте планку, пока она не ляжет на суппорт.



4 Прикрепите подвесную перекладину к верхней стороне боковых стоек и закрепите ее барашковыми болтами. На этом этапе также затяните барашковые болты на боковой стойке и основании.



5 Поместите звуковую колонну надписью с высотой тона вперед, а затем прикрепите звуковую колонну к подвесной перекладине.



注意事项

安全使用管钟

管钟是一种大型重乐器，适合不同年龄的人士在各种场合使用。因此，请遵守下述与其常规保养和放置有关的说明。使用之前，特别是儿童使用时，应由成年责任人提供如何正确使用及处理管钟方面的适当指导。

防止受伤 请务必遵守下述所有注意事项

关于图标

本节用各种图标提示本产品的安全使用方法，防止您及他人遭受伤害及财产损失。阅读本手册之前，请充分理解各种图标的含义。



本图标提醒您多加小心（包括危险和警告）。



本图标代表禁止的行为。



本图标代表应严格遵守的特殊说明。



例如：
不得拆卸



警告

无视带本图标的警告或使用不当可能会造成死亡或人身伤害。



使用管钟之前，请仔细阅读下述说明和使用手册。

放置乐器时的注意事项。



切勿将乐器放置在倾斜、不稳定等状态的平台上。否则，乐器可能倾翻，造成伤害。

乐器处理注意事项。



切勿倚靠或攀爬乐器。否则，乐器可能倾倒，造成人身伤害。

请勿在乐器周围玩耍嬉戏。否则，碰到乐器可能会受伤。此外，还可能使乐器倾倒。应使儿童远离本乐器。



发生地震时，地震造成的剧烈震动可能会使乐器倾翻或移动。地震期间应远离本乐器。

移动乐器时的注意事项。

运输管钟时，请务必接合制音器并解除所有脚轮的锁定。

如果在脚轮被锁住的状态下移动管钟，管钟可能会倾翻。



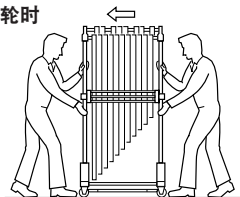
使用脚轮移动管钟时，只能在光滑、平坦的表面上移动。切勿在倾斜、不稳定或砾石表面上移动管钟。否则会导致管钟倾翻或失控，造成严重的人身伤害。

请务必由两人支撑边柱，缓缓地移动管钟，如右图所示。切勿奔跑。否则会导致管钟失控，撞到障碍物或墙上，造成严重的人身伤害。

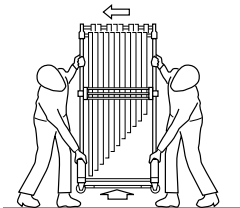
CH-500 的重量约为 84kg。如果在移动管钟时必须将其抬起，应由尽可能多的人小心地抬起管钟，以免受伤。此时，应支撑边柱，握住底座部分抬起管钟，确保挂架部分（悬挂音柱的部分）保持直立状态。抬起管钟时，切勿使底座部分高过挂架部分。否则会导致音柱从挂架上脱落。

乐器已装配好时，切勿移动乐器上下楼梯。这种做法十分危险，因为乐器部件会跌落，或者您会失去平衡而导致乐器跌落。乐器只有在分拆之后方可移动。

使用脚轮时



抬起时



注意

因无视带此标志的警告而造成的人身伤害、障碍以及乐器使用不当，均有可能造成个人财产损失。



组装或拆卸乐器时，在金属部件的侧面或末端附近应多加小心，以防止手指等部位受到伤害。



除演奏乐器外，请勿将琴槌挪作它用。否则可能造成伤害或意外。请勿让儿童用琴槌敲打他人或其他物品。请避免发生此类危险行为。



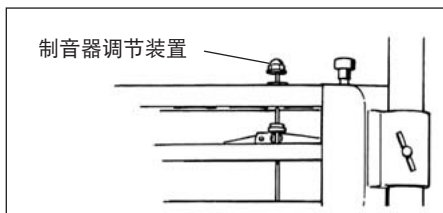
如果乐器经常移动，螺栓、零部件等会变松。移动乐器之后，请检查确认所有螺栓、零部件等是否牢固。紧固所有松动的部位。

感谢您购买雅马哈管钟。

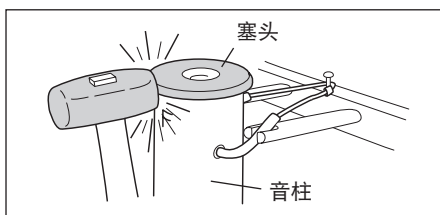
请仔细阅读本使用手册，长期享受乐器为您带来的乐趣。

使用之前

- 1 切勿使用金属类锤子或槌子敲打音柱。否则音柱会破裂。
- 2 请务必在平坦的表面上使用本乐器。本乐器在倾斜的表面上无法正常发挥作用。
- 3 组装钟架时，请务必牢固安装每个部件，并确保框架没有扭曲或外形缺陷。此外，请务必旋紧所有的蝶型螺母。
- 4 请用脚尖操作制音踏板。请勿站立在踏板上，或将身体重量施加在踏板上。否则可能会导致踏板破裂。
- 5 请勿触碰制音器调节装置。该调节装置在出厂时已经调好。移动该调节装置可能会导致制音器无法正常发挥作用。



- 6 演奏管钟时，请务必锁紧脚轮制动器，确保钟架不会移动。
- 7 演奏管钟时，应敲打塞头。切勿用音锤敲打音柱（音管）。



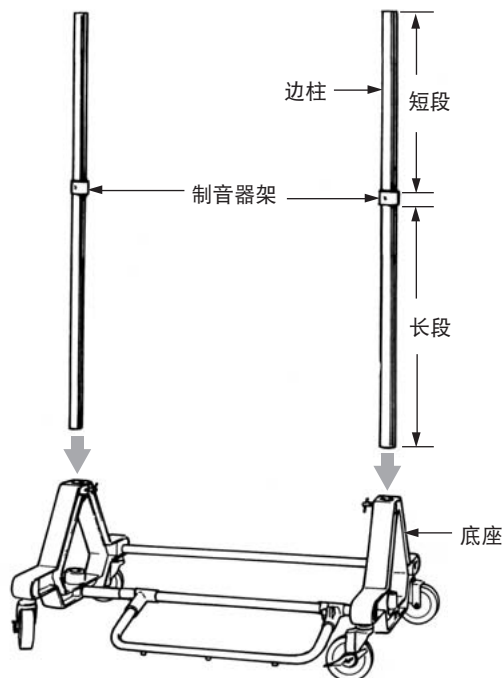
- 8 请勿将管钟放在高温潮湿的地方。否则会缩短乐器的使用寿命。
- 9 请用柔软、干燥的布定期清洁。切勿使用稀释剂、抛光剂擦拭。

运输时的注意事项

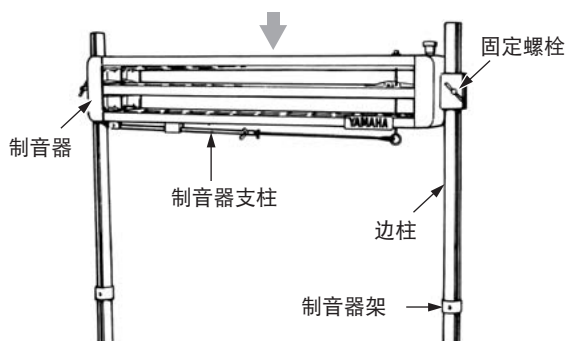
- 1 运输或移动乐器时，请勿使其受到强烈碰撞。
- 2 如果音柱被划破或弯曲，其音高和 / 或音调可能会发生改变。请多加小心。
- 3 远距离运输乐器时，特别是用汽车运输时，应从钟架上拆下音柱。如果不拆下音柱，钟架可能会变形，并且音柱的金属线 / 绳可能会断裂。
- 4 安装或拆卸音柱时，应在空间充裕的地方进行，以免音柱与其他物体接触。
- 5 为防止刮擦，取下音柱后应使用软布等物品将其包裹好，然后再运输。

CH-500/CHS-520 组装步骤

- 1** 将边柱插入底座。此时，务必使安装于边柱中部的制音器架以及边柱的短段保持直立。

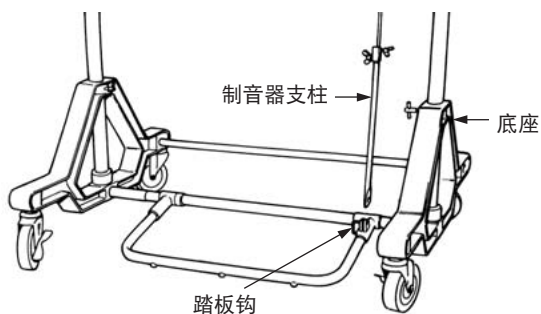


- 2** 将制音器装到边柱上，然后将其下降到制音器架上。接下来，用制音器固定螺栓将制音器固定到位。此时，也要旋紧将边柱固定到底座上的固定螺栓。

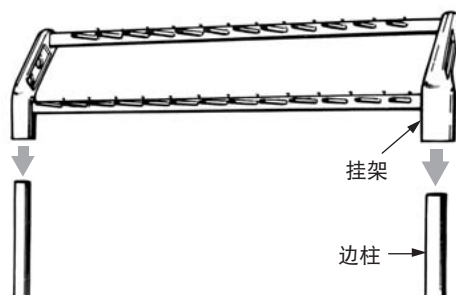


- 3** 取下安装于制音器底部的制音器支柱，松开制音器支柱上的蝶型螺栓，将支柱安装到踏板钩上。用踏板支柱上的两个蝶型螺栓调节踏板支柱的长度，可以控制踏板的位置。此时，应先旋紧上面的蝶型螺栓，然后再旋紧下面的蝶型螺栓。

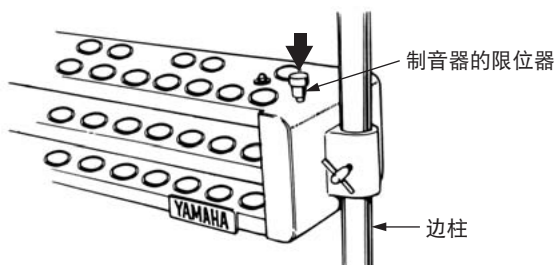
调整踏板的位置，使其在完全踩下时停在略高于地面的位置。



- 4** 将挂架滑到边柱上。



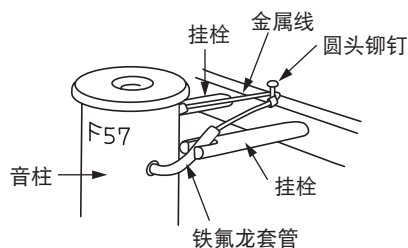
- 5** 要启动制音器的限位器，请踩下踏板并按限位器。松开踏板时，限位器便会将制音器锁定到位。



6

将音柱挂到挂架上之前，启动制音器的限位器。把声柱的音调铭文朝前放置，金属线的一头穿入挂钩销的插槽。然后，金属线的钩在圆头铆钉上，最后把金属线穿入剩余的挂钩销插槽。

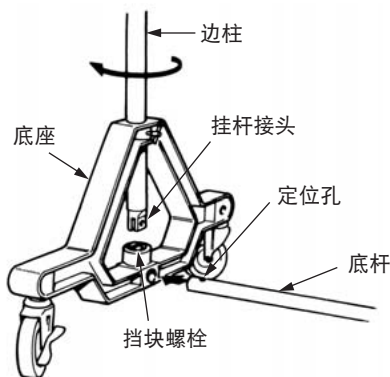
挂音柱时，先挂临时音 (C#53-F#70)，然后再挂自然音 (C52-G71) 比较容易操作。

CH-500

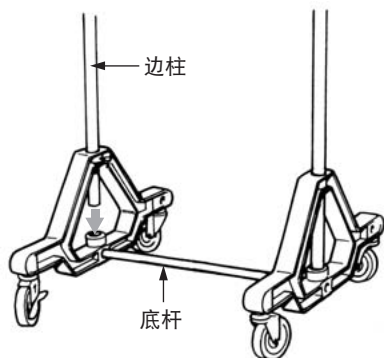
CHS-506 组装步骤

1

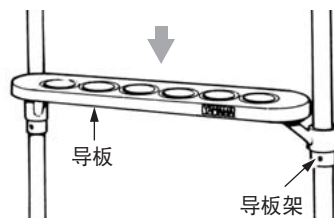
使底杆上的定位孔对准底座上的螺栓孔，将底杆连接到底座上。旋紧挡块螺栓，将底杆固定到底座上。（边柱的上端用作旋紧挡块螺栓的工具。插入边柱的上端，通过转动边柱来旋紧挡块螺栓。）

**2**

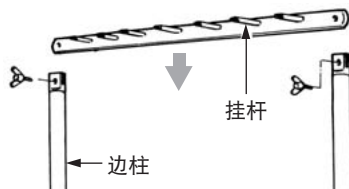
旋紧挡块螺栓之后，将边柱重新插入底座，确保边柱的挂杆接头直立。

**3**

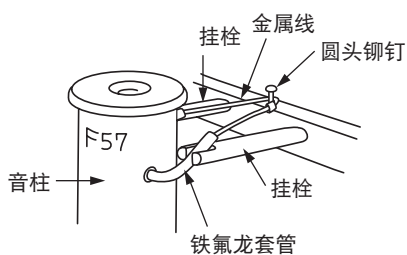
将导板装到边柱上，下降导板直至其停靠在导板架上。

**4**

将挂杆安装到边柱的顶部，用蝶型螺栓固定。此时，也要旋紧边柱和底座上的蝶型螺栓。

**5**

调整音柱的位置，使其所刻的音高字样朝前，将音柱安装到挂杆上。



* 拆卸时，按照组装的相反顺序操作即可。

주의사항

안전하게 차임 사용하기

차임은 모든 연령의 사람들에게 의해 다양한 곳에서 사용되는 대형의 무거운 악기이므로, 정기적인 관리와 교체에 관한 다음 지시사항에 따라 주십시오.

특히, 어린이의 경우에는 사용 전에 차임의 사용과 취급 방법에 대해 어른이 책임을 지고 적절하게 지도해야 합니다.

부상 방지 — 아래의 모든 주의사항에 따라주십시오—

아이콘에 대해서

이 섹션에서는 아이콘을 사용해서 본 제품의 안전한 사용을 촉진하며, 여러분과 다른 사람에 대한 위험과 물적 손상을 방지합니다. 본 설명서를 읽기 전에 아이콘의 의미를 잘 이해해 주십시오.



이 아이콘은 여러분이 주의해야 할 것을 나타냅니다 (위험 및 경고 등을 포함).



이 아이콘은 금지된 행동을 나타냅니다.



예를 들면: 분해하지 마십시오.



이 아이콘은 엄격하게 준수해야 하는 특별한 지시사항을 나타냅니다.



경고

이 마크가 있는 경고를 무시하거나 잘못 사용하면 사망이나 인적 부상을 초래할 수 있습니다.



차임을 사용하기 전에, 아래의 지시사항과 사용설명서를 주의 깊게 읽어 주십시오.

악기를 설치할 때의 주의사항.



절대로 악기를 경사지거나 불안정한 곳 등에 설치하지 마십시오. 악기가 떨어지거나 쓰러져서 다칠 수 있습니다.

악기 취급을 위한 주의사항.



절대로 악기에 기대거나 올라가지 마십시오. 악기가 떨어져서 다칠 수 있습니다.

악기 주변에서 놀이를 하거나 소란을 피우지 마십시오. 악기에 부딪히면 부상을 입을 수 있습니다. 또한 악기가 쓰러지게 되는 원인이 될 수도 있습니다. 어린이는 악기 가까이 가지 않도록 해 주십시오.



지진이 발생하면 지진으로 인한 강한 충격으로 악기가 쓰러지거나 움직일 수 있습니다. 지진이 발생 한 경우에는 악기에서 떨어져 주십시오.

악기를 이동시킬 때의 주의사항.

차임을 운반할 때에는 악음기가 걸속되고 모든 캐스터 잠금장치가 해제된 것을 확인해 주십시오.

캐스터 잠금장치를 걸속한 채로 이동시키면 차임이 쓰러질 수 있습니다.



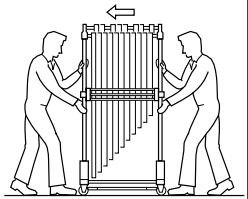
캐스터를 사용할 때에는 차임을 부드럽고 편평한 면에서만 이동시켜야 합니다. 경사지고, 불안정하거나 자갈이 깔린 곳에서는 절대로 차임을 이동시키지 마십시오. 그렇게 하면 차임이 쓰러지거나 제어할 수 없게 되어서 심각한 부상을 초래할 수 있습니다.

우측 그림과 같이 항상 항상 측면 컬럼을 두 사람이 지지해서 차임을 서서히 이동시켜 주십시오. 절대로 달리지 마십시오. 그렇게 하면 차임을 제어할 수 없게 되어 물체나 벽면에 부딪쳐서 심각한 부상을 초래할 수 있습니다.

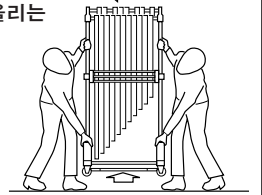
CH-500의 중량은 약 84kg입니다. 이동 시에 차임을 들어 올려야 하는 경우에는 부상을 피하고자 가능한 다수의 인원으로 주의해서 들어올려 주십시오. 이때 베이스 부분을 잡고 측면 컬럼을 지지해서 행거 부분 (사운드 컬럼이 걸리는 곳으로부터) 이 수직인 상태로 되도록 해서 차임을 들어 올려 주십시오. 절대로 베이스 부분을 행거 부분보다 더 높게 올리지 마십시오. 그렇게 하면 사운드 컬럼이 행거에서 빠지게 될 수 있습니다.

충계 아래위로 운반할 때에는 악기를 조립한 상태에서 해서는 안 됩니다. 그렇게 하면 일부가 떨어지거나, 균형을 잃어서 악기가 넘어지게 되는 원인이 될 수 있습니다. 악기는 반드시 분해한 후에만 운반해 주십시오.

캐스터 사용 시



들어올리는 경우



주의

이 마크의 경고를 무시하거나 악기를 잘못 사용함으로써 발생한 인체에 대한 부상이나 장해는 인적 재산의 손실을 초래할 수 있습니다.



악기를 조립 또는 분해할 때에는 손가락 등의 부상을 방지하기 위해서 금속 부분의 측면 또는 끝 부분 주위에 주의해 주십시오.



망치는 악기 연주 이외에는 사용하지 마십시오. 부상 또는 사고의 원인이 될 수 있습니다. 어린이가 망치로 다른 것을 치지 않도록 하십시오. 그런 위험한 행동을 하지 않도록 지도해 주십시오.

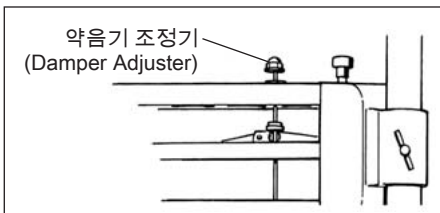


악기를 자주 이동시키는 경우에는 볼트, 부품 등이 유실될 수 있습니다. 악기를 이동시킨 후에는 모든 볼트, 부품 등이 잘 조여졌는지 확인해 주십시오. 느슨해진 것은 모두 잘 조여 주십시오.

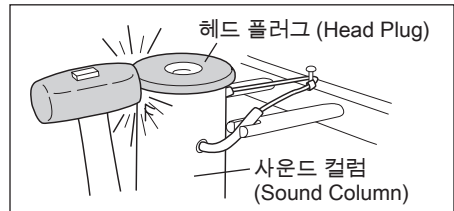
야마하 차임을 선택해 주셔서 감사합니다.
 사용설명서를 정독하셔서, 오랫동안 좋은 상태의 악기로 즐기십시오.

사용하기 전에

- 1 사운드 컬럼을 치는 데에는 절대로 금속 타입의 해머 또는 채를 사용하지 마십시오. 사운드 컬럼이 부서집니다.
- 2 악기는 항상 편평한 곳에서 사용해 주십시오. 경사진 곳에서는 악기가 올바르게 작동하지 않습니다.
- 3 스탠드를 조립할 때에는 각 부분이 단단히 부착되고 프레임에 뒤틀림이나 변형이 없는 것을 확인해 주십시오. 또한, 모든 워 너트가 단단히 조여진 것을 확인해 주십시오.
- 4 악음기 페달을 작동시키는 데에는 발가락을 사용해 주십시오. 페달 위에 서거나 체중을 실지 마십시오. 그렇게 하면 페달이 망가질 수 있습니다.
- 5 악음기 조정기를 만지지 마십시오. 조정기는 공장 출하 시에 조정되어 있습니다. 조정기를 움직이면 악음기가 올바르게 작동하지 않을 수 있습니다.



- 6 차임을 연주할 때에는 캐스터 브레이크가 단단히 걸리고 차임 스탠드가 움직이지 않는 것을 확인해 주십시오.
- 7 차임을 연주할 때에는 헤드 플러그를 때려 주십시오. 절대로 망치로 사운드 컬럼 (파이프) 을 치지 마십시오.



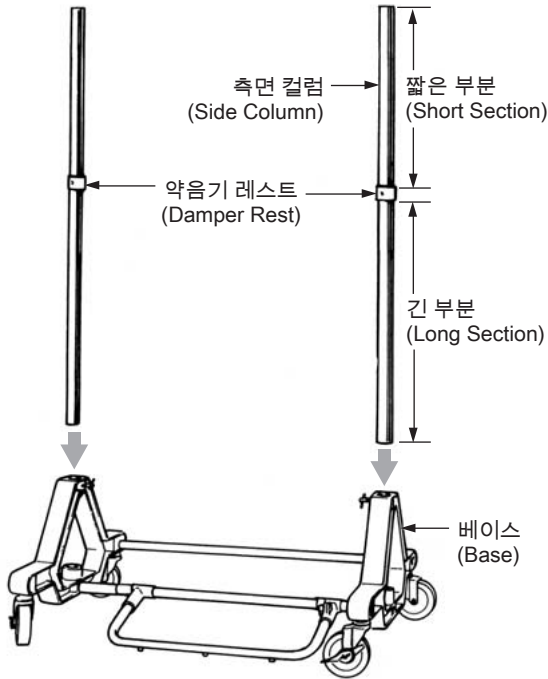
- 8 고온 및 다습한 곳에는 차임을 보관하지 마십시오. 그렇게 하면 악기 수명을 단축하게 할 수 있습니다.
- 9 정기적인 청소에는 부드러운 마른 헝겊으로 닦아 주십시오. 절대로 시너 또는 광택제로 닦지 마십시오.

운반할 때에는 주의해 주십시오

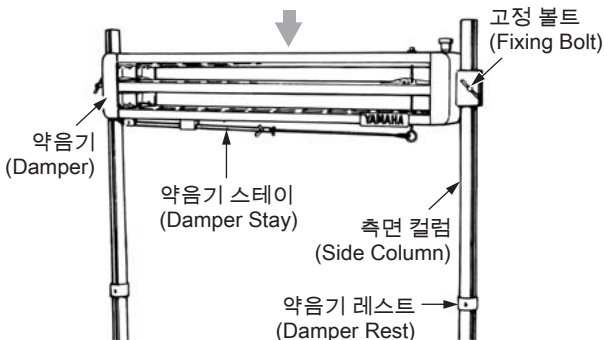
- 1 악기를 운반 또는 이동시킬 때에는 강한 충격을 주지 마십시오.
- 2 사운드 컬럼의 피치 및 / 또는 음조는 컬럼에 굽힘 또는 굽힘이 있으면 변경될 수 있습니다. 주의해 주십시오.
- 3 악기를, 특히 차량으로 장거리 운반할 때에는 사운드 컬럼을 스탠드로부터 제거한 상태로 해 주십시오. 컬럼을 제거하지 않으면 스탠드의 형상이 변하거나 컬럼의 와이어 / 줄이 잘릴 수 있습니다.
- 4 사운드 컬럼을 부착 또는 제거할 때에는 충분한 공간이 있는 곳에서 해서 컬럼이 다른 물체와 접촉하지 않도록 해 주십시오.
- 5 사운드 컬럼을 제거한 후에 부드러운 천 등으로 닦아내서 굽힘을 방지한 후 운반해 주십시오.

CH-500/CHS-520 조립 절차

1 측면 컬럼을 베이스에 삽입해 주십시오. 이 때 컬럼 중앙부에 부착된 약음기 레스트 및 컬럼의 짧은 부분이 수직으로 위치한 것을 확인해 주십시오.

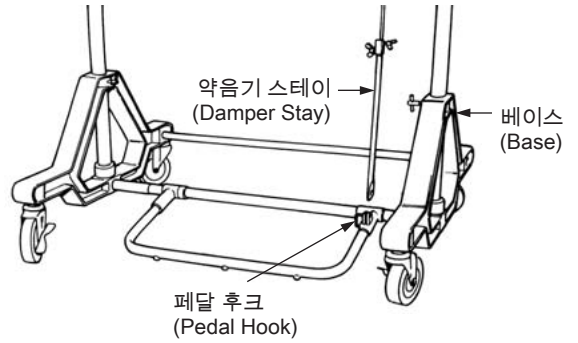


2 측면 컬럼에 약음기를 맞추고 약음기 레스트로 낮추어 주십시오. 그 다음에 약음기 고정 볼트로 약음기를 제 위치에 고정해 주십시오. 이 때 측면 컬럼을 고정하는 고정 볼트도 베이스에 조여 주십시오.

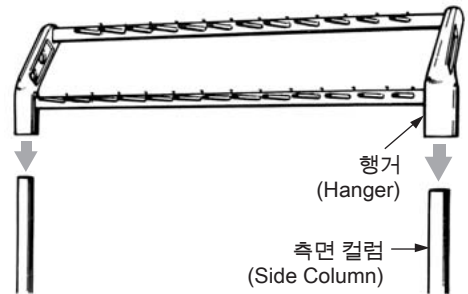


3 약음기 하부에 부착된 약음기 스테이를 제거해서 약음기 스테이의 윙 볼트를 풀고 페달 후크에 스테이를 부착해 주십시오. 페달 위치는 두 개의 윙 볼트로 페달 스테이의 길이를 조정해서 제어할 수 있습니다. 이 때에 상부 윙 볼트를 먼저 조인 후 하부 볼트를 조여 주십시오.

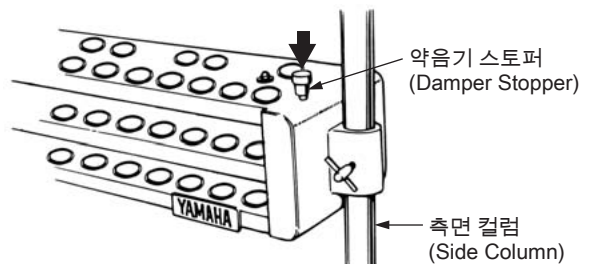
페달을 완전히 밟았을 때에 바닥 바로 위에서 멈추도록 페달 위치를 조정해 주십시오.



4 측면 컬럼에 행거를 고정 시킵니다.



5 약음기 스톱퍼를 작동시키려면 페달을 밟고 스톱퍼를 누릅니다. 페달을 놓은 때에 스톱퍼가 약음기를 제자리에 유지시킵니다.

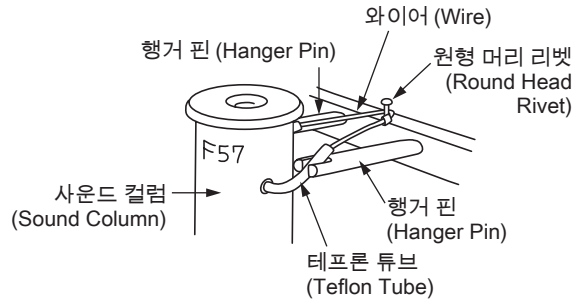


6 행거에 사운드 컬럼을 걸기 전에 약음기 스토퍼를 작동시켜 주십시오.

피치 표시가 앞쪽을 향하게 한 상태로 사운드 컬럼을 배치하고, 와이어의 한쪽 면을 행거핀의 홈에 끼웁니다. 그런 다음, 와이어를 원형 머리 리벳에 걸고 와이어를 나머지 행거핀의 홈에 최종적으로 끼웁니다.

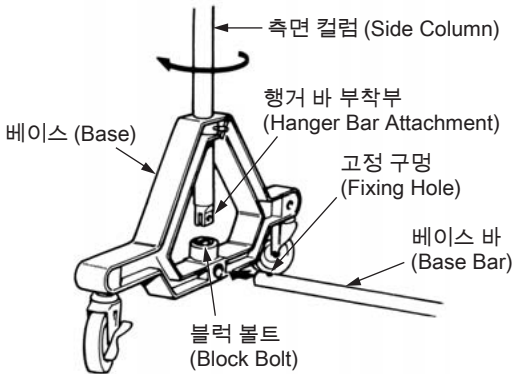
사운드 컬럼을 걸 때에는 임시 음조 (C#53-F#70)를 먼저 건 후에 자연 음조 (C52-G71)를 거는 것이 편리합니다.

CH-500

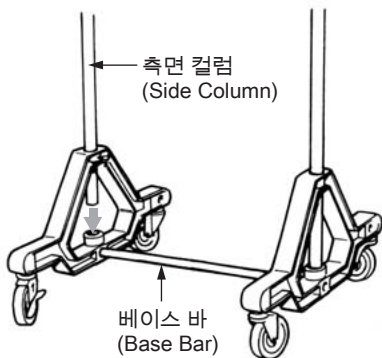


CHS-506 조립 절차

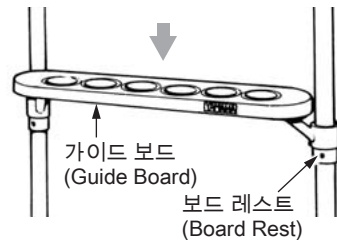
1 베이스 바의 고정 구멍이 베이스의 볼트 구멍과 정렬된 상태로 베이스 바를 베이스에 연결해 주십시오. 블럭 볼트를 조여서 베이스 바를 베이스에 고정합니다. (측면 컬럼의 상부 끝은 블럭 볼트를 조이기 위한 공구 작용을 합니다. 컬럼의 상부 끝을 삽입하고 측면 컬럼을 돌려서 블럭 볼트를 조입니다.)



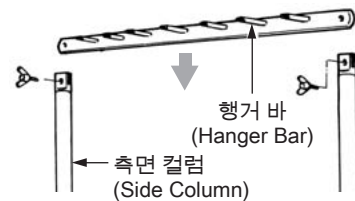
2 블럭 볼트를 조인 후에 측면 컬럼을 베이스에 재삽입해서 측면 컬럼의 행거 부착부가 수직으로 위치한 것을 확인해 주십시오.



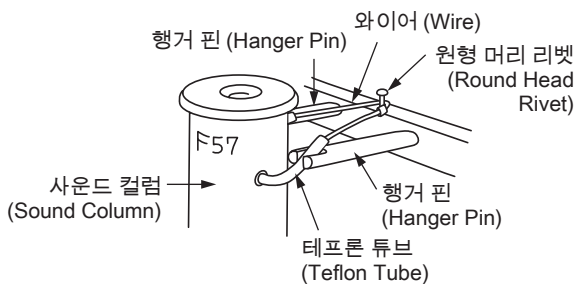
3 가이드 보드를 측면 컬럼에 맞추고 보드 레스트에 들어갈 때까지 가이드 보드를 낮추어 주십시오.



4 행거 바를 측면 컬럼의 상부에 부착하고 wing bolt로 고정합니다. 이때 측면 컬럼 및 베이스의 wing bolt도 조여 주십시오.



5 피치 명판이 앞을 향하게 한 상태로 사운드 컬럼을 위치시키고 사운드 컬럼을 행거 바에 부착해 주십시오.



* 분해는 조립 순서를 반대로 하면 됩니다.

Memo

Memo

